

復興のホンネー東日本大震災でのできごと その2ー



日時:2024年6月21日(金),21:00~22:30

バーテンダー:東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔

総括・常連の客:東北大学災害科学国際研究所 教授 佐藤健

★Speakers★



長沼俊幸
閑上中央町内会長

生まれも育ちも閑上。水道設備の自営業を営んでおり、震災時は妻と一緒に家ごと津波に襲われ、屋根の上で一晩を過ごし九死に一生をえた。震災発生から約6年は愛島東部仮設住宅に。2017年に名取市閑上に自宅を再建し、ボランティアの受け入れや近所の見回り、催しやお祭りでコミュニティを作っている。「閑上の記憶」の案内人であり語り部。全国につながりを持ち、阪神・淡路大震災、熊本地震の地域とも交流し、情報交換をしながら「被災地」と呼ばれる場所「閑上」を大切に語り継いでいる。



安本賢司
株式会社パシフィックコンサルタンツ

1970年(昭和45年)生まれ、兵庫県神戸市出身。1995年(平成7年)1月、当時関西大学4年生の時に阪神・淡路大震災での被災経験を経て、1997年(平成9年)4月パシフィックコンサルタンツ株式会社に入社し、配属先の東北支社で勤務。計画および開発分野での業務に主に従事しながら、支社の宿命でもある幅広い分野の業務を手掛けてきた。2011年(平成23年)3月の東日本大震災においては、これまでの幅広い経験をもとに宮城県名取市で被災直後から「まちびらき」に至るまで一貫してその復興業務に携わってきた(復興担当プロジェクトリーダー)。現在は、東京本社 プロジェクトイノベーション事業本部PM/CM事業部所属。



加藤春奈
東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 博士課程後期2年

宮城県仙台市出身、東日本大震災当時は中学1年生で、実家の数百メートル手前で津波が止まる。隣町である名取市閑上地区の壊滅的な被害を目の当たりにし、都市防災へ興味を持つ。仙台高専では閑上地区を対象に、被災された方・地域で活動する方々に復興まちづくりの現実を学ばせていただく。現在は東北大学大学院へ進学し、閑上を含む東北沿岸被災地を対象に、日本学術振興会特別研究員として研究を続けている。

★開催方法:ZOOM

★申込方法:以下、URLまたはQRコードからお申し込みください。(定員100名。定員になり次第締切)

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZ0td--spz8vGdevIcCRUZaiWkX9f0C3k1BF>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

★主催:日本自然災害学会

★世話人 東北地区 佐藤健、佐藤翔輔(東北大学災害科学国際研究所)

★お問い合わせ:日本自然災害学会 事務局(sai@jsnds.org)

ぜひお手元に、ドリンク等
用意してご参加ください。

